

第10回 糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和6年6月13日(木) 10時00分から
- 2 会場 糸魚川市役所 庁議室
- 3 出席委員 教 育 長 齋藤 修一
教育長職務代理 谷口 一之
委 員 齋藤 里沙
委 員 秋山 伸宏
- 4 欠席委員 委 員 楠 愛
- 5 委員以外の出席者
教育次長 山本喜八郎
こども課 課 長 室橋 淳次 課長補佐 田村 公一
管理係長 田代 正人
こども教育課 課 長 古川 勝哉 課長補佐 関澤 仁
係 長 植木 靖英
生涯学習課 課 長 磯貝 恭子 課長補佐 本間 正之
文化振興課 課 長 嵐口 守 課長補佐 榊 正喜
博物館 館 長 竹之内 耕
書記 こども課主査 上原 奈穂
- 6 報 告
報告第 30号 感染者の確認に伴う休校等について

報告第 31号 糸魚川市中学校部活動指導員の委嘱について

報告第 32号 糸魚川市学校運営協議会委員の委嘱の一部変更について

報告第 33号 各課・機関所管事項について
- 7 付議案件
議案第 19号 糸魚川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定に関する意見の申出について

議案第 20号 令和6年度糸魚川市一般会計教育費等補正予算（第1号）に関する意見の申出について

議案第 21号 糸魚川市教育委員会職員の人事措置について

8 会議録署名委員の指名 4番 秋山委員

9 傍聴者 1人

教育長

令和6年第10回教育委員会定例会を開会する。
本日の会議は、3番楠委員から申出があり欠席である。

報告第30号感染者の確認に伴う休校等について、事務局の説明を求める。

こども教育課長

(資料に基づき説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

質疑なしと認め、報告第31号糸魚川市中学校部活動指導員の委嘱について、事務局の説明を求める。

こども教育課長

(資料に基づき説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

質疑なしと認め、報告第32号糸魚川市学校運営協議会委員の委嘱の一部変更について、事務局の説明を求める。

こども教育課長

(資料に基づき説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

新年度が始まり、今までこういった変更はなかったと思うが、今回変更となった背景について説明をいただきたい。

こども教育課長

5月に第1回学校運営協議会を開催した際、田沢小学校の学校運営協議会会長が青海中学校の学校運営協議会の委員として入っているが、青海小学校の会長は青海中学校の委員に入っていないとの声があった。バランスを見て田沢小、青海小の両会長に青海中学校の委員になっていただくのが妥当ではないかという意見を受けて学校が判断をした。

教育長

ほかにご質疑はあるか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

質疑なしと認め、報告第33号各課・機関所管事項について、事務局の説明を求める。

こども課 所管事項報告

こども教育課 所管事項報告
生涯学習課 所管事項報告
文化振興課 所管事項報告
図書館 所管事項報告
博物館 所管事項報告
市民会館 所管事項報告

教育長
秋山委員

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

不登校の状況で、4月は30日以上欠席児童は当然いなかったが、5月で15人という記載がある。新学期に入り、進級進学した生徒も含め、4月、5月でこのような状況になったということか。この数字は糸魚川市全体の数字として認識していいか。

こども教育課長
秋山委員

その認識で間違いない。

5月に5日以上欠席した児童が36人いる。その児童が不登校になる可能性があるということか。

こども教育課長

5月だけで5日以上欠席した児童数である。例年この人数が、月が進むごとに増えていき、年間欠席30日以上に繋がっていく傾向があるので、注意深く学校で見守り、支援をしていく。

秋山委員

前回、谷口委員から4月、5月の移行期は、かなりの上昇があるので教育委員会から各学校へ丁寧な対応、解消に向けての取組の声かけ、支援をお願いしたいとの意見があったが、それを受けて具体的にどのような働きかけをしたか。実態を聞かせてもらいたい。

こども教育課長

小学校から中学校への引き継ぎ、不登校傾向や不登校であった児童の引き継ぎをしっかりと行い、個人に応じた対応をするように各学校に指示をした。また、校長会でも進級進学の時期に環境の変化により、不登校が増える傾向があるので丁寧に支援をするように話をした。残念ながら、現段階で去年よりも不登校児童生徒は2人増えているが、小学校のときは自分の教室に入れずに別室で学習していた児童が中学校進学を機に、みんなと一緒に教室で学べるようになった事例もある。そういった対応を参考にしながら他の学校にも指導していきたい。

秋山委員

数字だけを見られがちだが、この実態を学校に伝えて、参考にしして改善をしてもらいたい。

谷口委員

小学校の運動会や中学校の体育祭が開催されたが、中学校は時期を変えたり、コロナ禍の影響や働き方改革でほとんどの小学校が午前中だけの開催にしたり、形態が変わってきている。

先日、新潟市で孫の運動会を見に行ったが、1,000人以上いる学校でビッグスワンスタジアムを会場に開催予定だった。雨で延期になり、学校のグラウンドで午前中のみ開催で、1時間ごとに交代し、中学年、低学年、高学年の順で保護者も入れ替えて行った。自分の

子どもの時間までは入場制限があり、保護者は会場前で並んでいた。種目は徒競走があったが、順位はつけない。赤白の応援と団体種目はあり、勝敗は発表するが、総合得点はなく、総合優勝もない。アナウンスは全て子どもが行っていた。それぞれの学校の狙いや考え方があったり、職員や子どもの負担、時間的な制約があったりする中で、競技の前にダンスを踊ってから団体種目をするなど工夫をしていた。市内全校を見たわけではないが、それぞれの学校で工夫をして開催していた。子どもたちの発想や子どもたち自身の力を大事にして、運営を子どもに任せて、教師主導ではなく、子どもに考えさせる活動をしている。子どもが主体で自分の力を出して、子どもたちが満足するような活動が小学校でも始まっている。私も小学校に勤めていたが、だいぶ変わっていて、そういった時代になったと改めて感じた。

教育長

学校の伝統的な行事が変わりつつある現状を踏まえながら、子ども主体の活動とはどのようなものかをみんなで見つめ直しながら、学校の考えもある中で教育委員会としてどんな応援ができるのか。この部分だけは最低限お願いしたいといったことがあれば、学校に働きかけていくことも大事ではないか。総務文教常任委員会でも、糸魚川らしい種目や伝統的な部分はできるだけ残してほしい。そのために授業の中で、先輩たちから引き継がれている伝統、糸魚川小唄や青海小唄、そういった要素も残してもらえると、地域ぐるみで参加ができる子どものイベントになるのではないかという提案があった。そのあたりも加味しながら、運動会のあり方についても、関心を持ちながら関わっていききたい。

齊藤委員

教育懇談会の参加について教えてもらいたい。グループワークには参加しないが、講演だけを聴きたいといった方が参加することは可能か。

こども教育課長

申込み時に記載してもらえれば、そのように対応する。

齊藤委員

申込み自体は必要か。

こども教育課長

必要となる。

齊藤委員

前回、不登校がテーマの際、実際に不登校の子どもを持つ保護者から関心があるが、参加しづらいとの声が聞こえてきた。今回の愛着形成もそういったところにも関わる根底の部分だと思うので、ぜひ聞いてもらいたい。

こども教育課長

資料や座席の準備があるので、できれば事前に参加申込みをしてもらいたいですが、当日でも受け付ける。積極的な参加をお願いしたい。

教育長

教育懇談会のあり方も、年数を積み重ねて、当初は子ども一貫教育の理解を求めるために教育に関わる関係者が主体で小中学校の校長会、教育委員会等が共催となり開催してきたが、糸魚川市は地域総ぐるみで子どもたちを育てることを目指している。ただ、地域の

関係者となるとPTAの代表や、地区の役員代表に限定されることが多いが、そういった時代ではなくなっている。ものの見方は大事にしていきたい。収容人数の関係や準備の関係で、一気にオープンにするのは難しいが、広め方を考えて進めていくことが求められている。今ほどの齊藤委員の意見を尊重し、校長会等で今後の方向についての意見交換の際に伝えて、また準備を進めていただきたい。

私から1点、博物館の「焼山噴火50周年」の企画展が催されるが、学習会の計画があれば紹介してもらいたい。特に校区の下早川小学校や上早川小学校エリアにとっては大事な部分になる。子どもたち向けの学習会のイベントの企画があるのか、あるいは市民レベルで焼山の学習会をするイベントは予定しているか。今年は大きな節目なので、ジオパーク学習にとってもチャンスの年になる。具体的なプランがあれば紹介してもらいたい。

博物館長

学校関係は現段階で特に予定はないが、学校に働きかけをして、申込みがあれば計画したい。現段階では8月24日に上早川地区を対象にしたワークショップを予定している。具体的には噴火を経験した方を講師にお招きし、地域の方たちと話し合い、焼山が噴火した際の避難行動を考えるワークショップを開催する。また、8月25日は県の主催で、ビーチホールまがたまを会場に大学の先生等をお呼びしてパネルディスカッションを予定している。噴火の体験学習、教材関係の体験学習、气象台による地震計の展示などを計画している。あとは、ミュージアムでパネル展を開催する。

教育長

地域ぐるみのもの、市民グループ向けのものなど8月は幾重にも学ぶ機会を計画していく。こういった機会は学校のジオパーク学習の位置付けとして、出前講座でもいいし、博物館と学校をオンラインで繋げた学習会でもいいし、子どもたちへの学習の機会としてタイムリーな時期ですので、ぜひ企画してもらいたい。学校へは声掛けをしてもらいたい。そういった機会に親子学習で全校で焼山を学ぶ機会に、参観日でもいい。親子で一緒になって故郷の山の特性を学ぶこともいい機会になるのでお願いしたい。

ほかにご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

質疑なしと認め、付議案件に入る。

ここで付議案件の進行についてお諮りする。議案第19号及び議案第20号は市議会の議決を経るべき案件、また、議案第21号は糸魚川市教育委員会職員の人事に関する案件であるため、非公開としたい。これにご異議はないか。

委員

(「異議なし」の声あり。)

教育長

異議なしと認め、議案第19号から議案第21号は非公開とする。会議日程の順序を入れ替え、次回教育委員会定例会開催日予定、そ

委員
教育長

の他の後としたいが、これにご異議はないか。
（「異議なし」の声あり。）
異議なしと認め、今ほどの決定のとおり進める。

教育次長

次回教育委員会定例会開催
令和6年7月25日(木) 10時00分から
その他 特になし

教育長

これより非公開とする。

議案第19号 原案のとおり承認

議案第20号 原案のとおり承認

議案第21号 原案のとおり承認

教育長

これより非公開を解く。
以上で、令和6年第10回教育委員会定例会を閉会する。

11:07 終了